

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6年 5月 22日

事業所名 こどもプラス豊見城教室別館(単位 I)

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	7	0	0	・活動スペースには柵やプレイマットで仕切り、体を動かす場所・静かに遊ぶ場所など区別し活動している。	
	2	職員の配置数は適切である	4	1	2	・利用人数に合わせて職員の出勤を調整している。	・職員の配置数は適切であるが、時間帯によっては工夫して時間や職員数を調整していきたい。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	2	4	1	・危ない箇所にはクッション材を設置したり、物置場所など工夫している。	・建物の都合上、バリアフリー化出来ない場所(トイレなど)があるが、出来る限りの対策と配慮を行ってきたい。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	5	2	0	・日々の朝礼や終礼、月ごとの業務ミーティングを行っている。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	4	3	0	・毎年、評価表を保護者に記入してもらい、業務改善に繋げている。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	2	5	0	・毎年取り組み、ホームページにて公表している。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	2	5	0		
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5	2	0	・こどもプラスホールディングス本部からのオンライン研修に参加したり、見逃し配信で時間を調整し視聴できる機会を確保している。	
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	7	0	0	・契約時にはアセスメントシートを活用し、子どもや保護者へニーズを確認し計画書を作成している。	・個別支援計画更新時には子供の様子を観察し、アセスメントシートの更新を行っていく。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5	2	0	・アセスメントシートを活用している。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	4	3	0	・活動やイベントごとの担当を決め、担当者を中心にチームで支援を行っている。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	7	0	0	・運動遊び、静かな時間、外出など様々な活動をマンネリ化しないように適切にプログラムし取り入れている。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	5	2	0	・長期休暇も含め、宿題をする時間などを設定し、個々に合わせて活動を設定している。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	6	1	0	・集団で行う運動遊び、机上で訓練する個別活動など利用者に合わせて支援内容に組み込んでいる。	

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	4	2	1	・朝礼でその日の利用者に合わせた活動の提案や計画をし、取り組んでいる。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	4	3	0	・終礼で活動の振り返りをしたり、その日の児童の様子や感じたことなどを共有している。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	7	0	0	・日々の支援後に記録を入力する時間を設けている。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	6	1	0	・定期的に行い、支援の見直しがあれば計画に反映している。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	5	2	0	・その日の利用児童に合わせて様々な活動を取り入れている。	
関係機関 や保護者との 連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	7	0	0	・基本は管理者や児発管が参加しているが、必要であれば専門職や訪問担当職員が参加している。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	7	0	0	・送迎時に学校からの申し送りがあった際には、保護者にも確認を取り、適宜調整している。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	0	0	7	・該当児がいない。	・該当する児童が利用する際には連携を図っていききたい。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	5	1	1		
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	0	0	7	・該当児がいない。	・現在小学校低学年までの利用者しかおらず、該当児がいないが、今後該当児が利用する際には関係機関と情報共有などを行っていききたい。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	0	4	3	・研修の機会があれば参加している。	・今後も日程を調整し、参加出来る時には参加しに行きたい。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	3	1	3	・地域の児童館イベントに参加したり、公園外出の際には地域の子と遊ぶ機会がある。	・感染症も落ち着いてきたので、今後積極的に交流イベントを計画したい。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	1	3	3		・取締役が自立支援協議会全体会の委員として参加している。豊見城市にこども部会がないが、別部会などに参加する機会があればぜひ参加したいと考えている。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	7	0	0	・オフィシャルLINEを活用し、日々の様子を伝えあい、共通理解を深めている。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	4	3	0	・家族支援として相談や助言は行っている。	
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6	1	0	・契約時や必要に応じて全利用者に説明を行っている。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	7	0	0	・相談があった際には適切に応じ、必要であれば時間を調整し面談などを行っている。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	2	1	4		・開催するに至っていないので、今後開催時期を考えながら計画していききたい。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	6	1	0	・管理者を通して迅速に対応している。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	7	0	0	・毎月おたよりを作成し、オフィシャルLINEにて配信している。	
	35	個人情報に十分注意している	7	0	0	・台帳の保管場所や写真の取り扱いなど、常に意識し、扱い方について全職員で注意している。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	7	0	0	・情報伝達が難しいご家庭は配慮し、関係機関へ連絡したり、いつでも支援できる体制を整えている。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に関わられた事業運営を図っている	3	3	1		・今後はイベントを開催して行く予定。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	5	2	0	・研修を行ったり、年に2回の訓練(災害・不審者など)を行っている。また訓練を行った際には、その日の活動の様子やブログにて様子をお知らせしている。	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	7	0	0	・年に2回訓練を行っている。また非常時に備え役割分担を決めて意識している。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5	2	0	・動画研修や事例検討会などを行っている。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	5	2	0		・現在は該当児がいないため、やむを得ず身体拘束を行う場合には保護者の了解を得たうえで支援計画書を作成していきたい。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	4	2	1	・食事やおやつの場所をわけるなど、必要に応じて対応している。	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6	1	0	・事例集を作成し、全職員で共有している。	